

なめがた大使 小林光恵さん 書きおろしエッセイ

五感でキャッチ！なめがた漫遊記 第3回

お盆って何色？

先日、役所の待合椅子でたまたま隣になった5歳ほどの女の子に唐突に「おとといって何色？」と聞かれて絶句。それ以来「○○って何色？」と自分に問うてみるのがマイブームだ。

お盆の色も考えてみたら「限りなく白に近いうす緑」という結論になった。

高校生になる前くらいまでだろうか。お盆になると行方市三和の金上にある父の実家を一家で訪ねたものだった。その際に、飲み物と共に出してくれた「瓜の浅漬け」の果肉部分の色が私のお盆の色。幅15ミリほどにスライスされた2、3切れが、生薑醬油にひたされた後、皿替わりの私の左の手のひら上に載せられる（思えば、熱中症予防にうってつけの食べ物だ）。割と

ずつしり、そしてヒンヤリとしたそれには独特な存在感があり、私はまじまじと見つめた。煮ると透明になってしまふその果肉。白のようであるが白ではない、なんとも繊細なうす緑色をあたたしがちゃんと記憶しとくからね！などと心の中でつぶやいた。種を取り除いた部分は、歯が抜けた歯茎に似ているな、とも思った。

たぶん、盆綱（最近知ったお盆の風

習。三和地区など行方各所で続いてきたらしい）についても話題になったこと

とがあつたであろう、大人たちの会話に耳を傾けていれば、その場であれこれ質問ができたかもしれないのに、私は実に近視眼的で……。まあ、そんな子どもだったのだから仕方ない。

ずいぶん前から、瓜の浅漬けを自分で作ってみようかなと思いついて、まだに作っていないのは、当時の瓜の色の記憶が色あせてしまひそうだから……ということにしておきたい。

※盆綱（ぼんつな）

2015年に「東関東の盆綱」という名称で国が「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択した。

小林 光恵さん

虹の塔に行ったことがありません。今度上つてみたいです。

行方市出身。つくば市在住。玉造小学校の私の学年は3クラスありました。航空写真の撮影で飛行機が飛んできたとき、人文字の一部になっていたのは何故か息を止めたのでした。

市公式ホームページ内で「行方帰省メシ」連載中。サイトはこちらから▶



地域おこし協力隊

連載コラム③

地域おこし協力隊の田沼絢子です。暑い毎日が続いていますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

協力隊として着任してまず初めに、女性消防団に所属しました。着任するまでは「消防団」という言葉は聞いたことがありましたが、実際にどのような活動をしているのか、正直知りませんでした。消防団に入団し、女性消防団の海老澤部長をはじめ、他の女性消防団の皆さんと交流を深めながら、地域防災や火災予防等について学び、地域の皆さんに向けて防災予防や火災予防について啓発活動を行っています。

啓発活動の一つとして、この時期は熱中症予防の広報活動があります。この時期になると熱中症の危険性が増します。女性消防団では、市の広報車に乗車し、スピーカーを使って市民の皆さんに、熱中症の危険性や予防についてのお声かけを行っています。

また、昨年は、普通・上級救命講習を受講しました。救命講習では、心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）

の使用手法や外傷手当てなど、さまざまな応急手当についての講習を受講しました。救命のためには、早い段階で適切な応急手当が行われることが非常に重要だということを学びました。

万が一、その場に居合わせた際には、すぐに救命行為ができるように日頃から心がけたいと思っています。

暑い日が続きますが、外出時は涼しい服装や帽子、日傘などを利用しながら、そして塩分・水分補給をしっかりとしながら、暑い夏を乗り越えましょう。（次号は、佐藤晶が担当します。）



▲田沼 絢子 隊員

【令和2年7月1日～現職】
なめテレの普及活動や次世代情報発信を担当。鹿行地域おこし協力隊の連携にも力を入れている。

